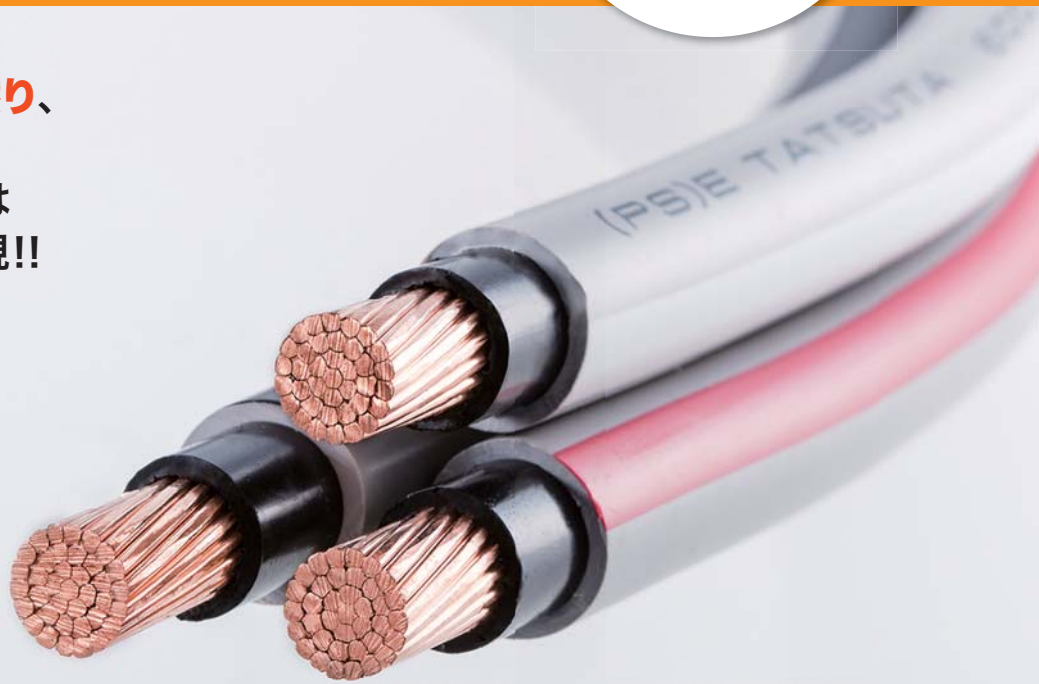
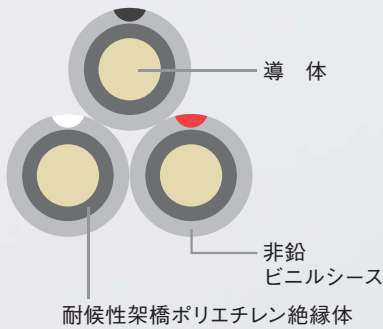


耐候性CVT型ケーブル／低圧配線用 ニュー・スラットケーブル

150mm²が
追加と
なりました

60mm²、100mm²は**37本撚り**、
150mm²は**61本撚り**で、
CVT型ケーブルとしては
驚異的な曲げ易さを実現!!



全てのケーブルに
残数が分かる
印字がつけました

016m

※ドラム品は黄色印字

RoHs対応品
だから
**営農型
太陽光発電**
にも採用!

ニュー・スラットケーブルは
RoHs対応品。環境にやさしい
点が評価され営農型太陽光発
電に実際に採用されています。

狭い盤間の
渡り配線でも
**ラクに
作業可能**

新たに60mm²から150mm²は細線
構成としたため、状況に合わせ
て選択可能で、狭い盤面でも渡
り配線をラクに行えます。

19本撚りでくせ付け易さ
22mm²で
約**45%** ↑
38mm²で
約**40%向上!**

※裏面試験方法参照

22mm²、38mm²は従来の19本撚り
を円形圧縮。製法の変更によ
り、くせ付け易さがさらに向上
しました。

14mm²から円形圧縮に
**CVTと同じ端子が
利用可能!**

新たに14mm²、22mm²、38mm²の導体
が円形圧縮に。これまでと異なり
CVTと同じ端子が使えます。

VVRからの
サイズダウンで
**コストも
ダウン**

耐候性架橋ポリエチレン絶縁を
使用。許容電流が増加しVVR
からサイズダウンが可能です。

**オール
電化に
最適**

ニュー・スラットケーブル3×22
mm²はオール電化住宅に対応する
100Aの契約工事に最適です。

▶ 構造表

線心数	導 体			絶縁体厚さ (mm)	シース厚さ (mm)	仕上外径 (約) (mm)	最大導体抵抗 (20°C) (Ω/km)	概算質量 (kg/km)	標準条長 (m)
	公称断面積 (mm ²)	構成(本/mm) または形状	外 径 (mm)						
3	5.5	7/1.0	3.0	1.0	1.5	17.5	3.40	320	50
	8	7/1.2	3.6	1.0	1.5	18.5	2.36	405	30, 50, 600
	14	円形圧縮(7/SB)	4.4	1.0	1.5	21	1.34	585	30, 50, 600
	22	円形圧縮(19/SB)	5.5	1.2	1.5	24	0.849	850	30, 50, 600
	38	円形圧縮(19/SB)	7.3	1.2	1.5	28	0.491	1,350	600
	60	円形圧縮(37/SB)	9.3	1.5	1.5	33	0.311	2,020	300, 600
	100	円形圧縮(37/SB)	12.0	2.0	1.5	41	0.187	3,270	600
	150	円形圧縮(61/SB)	14.7	2.0	1.5	47	0.124	4,650	600

▶ 許容電流比較

表-1 許容電流表

単位:A

ケーブル		VVR(SV)		ニュー・スラットケーブル(CVT)		(参考) 気中1条電線管布設
サイズ	周囲温度	40°C	30°C	40°C	30°C	30°C
3× 5.5		28	34	50	55	40
3× 8		36	42	62	68	50
3× 14		50	61	86	94	69
3× 22		66	80	110	120	90
3× 38		93	113	155	170	120
3× 60		120	150	210	230	165
3× 100		165	202	290	315	235
3× 150		220	265	380	415	300
3× 200		260	315			
3× 250		300	370			

表-2 周囲温度40°Cにおける電線サイズ適合表

1線あたりの最大想定負荷電流(A)	配線の種類による幹線の太さ(銅線)VVR(SV)	開閉器の定格(A)	過電流遮断器の定格(A)		ニュー・スラットケーブル(mm ²)
			B種ヒューズ	配線用遮断器	
50A	14	60	50	50	5.5
60A	22	60	60	60	8
75A	38	100	75	75	14
100A	60	100	100	100	22
125A	100	200	125	125	38
150A	100	200	150	150	38
200A	150	200	200	200	60
250A	200	300	250	250	100
300A	250	300	300	300	150

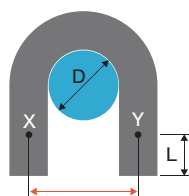
▶ 試験方法

□ お問い合わせ、ご用命は下記へどうぞ

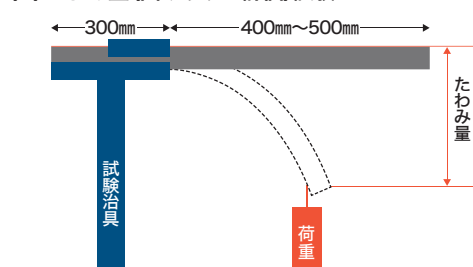
(a) かせ付性能評価試験

単芯の状態にて両端末から長さLの部分にマーキングし、X、Y点とする。その後、ケーブルをマンドレル(棒治具)に巻き付け、30秒間保持する(図-1)。解放前と解放10秒後のX-Y間の距離を測定する。(Dはケーブルサイズにより変更する)

【図-1】 L:直線部長さ



(b) たわみ量(曲げやすさ評価)試験



トリフレックス状態で、たわみ量を比較。(荷重はケーブルサイズにより変更する)

HST 住電日立ケーブル株式会社

大阪本社・大阪電販部 TEL. 06-6131-4157、4255 FAX. 06-6447-1610、1635
 北陸営業所 TEL. 076-405-2460 FAX. 076-405-2463
 四国営業所 TEL. 087-822-5802 FAX. 087-822-5829
 東京本社・東京電販部 TEL. 03-5827-1015、1077、1017 FAX. 03-5827-1096
 新潟営業所 TEL. 025-299-0463 FAX. 025-222-2881
 北海道営業所 TEL. 011-261-1782 FAX. 011-261-1959
 東北支店 TEL. 022-723-8877 FAX. 022-723-8875
 中部支店 TEL. 052-968-7090 FAX. 052-968-7095
 中国支店 TEL. 082-241-5162 FAX. 082-249-6024
 九州支店 TEL. 092-261-7300 FAX. 092-261-7335

<http://www.hst-cable.co.jp>

□ 取扱先